

## 第2回名護市中心市街地まちづくり推進協議会の振り返り

## 1 検討体制



## 2 第2回名護市中心市街地まちづくり推進協議会の振り返り

### 2.1 開催概要

日時	令和6年7月30日(火) 14:00~16:00
場所	名護市民会館中ホール及びWeb
議事次第	1 開会 2 議事 (1) 第1回名護市中心市街地まちづくり推進協議会の振り返り (2) 第1回名護市総合交通ターミナル検討部会の報告 (3) 名護市中心市街地のまちづくりの状況について -名護市中心市街地のまちづくりの状況 -名護市中心市街地土地区画整理事業の検討状況 -名護漁港浮棧橋整備事業について -名護市コミュニティバスの利用状況



▲当日の様子

## 2.2 議事要旨

<前回指摘事項>

赤字：今回の協議会での具体的な対応

	指摘	対応方針（案）
まちづくりの考え方 (ハード)	<ul style="list-style-type: none"> <li>海・市街地・山の近接性や名低山（名護岳や名護城）、夕日、ナイトマーケットなど名護の特徴・既存の観光資源等を活かすべき。<b>まちと自然を活かし、協調した計画</b>とすべき。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>21世紀の森公園やなご丸ルートなども含めた範囲で観光資源等を考慮した賑わいづくりを検討する。</li> <li>⇒<b>コンセプトを提示</b></li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>名護東道路開通による交通流動の変化や、今後の鉄道、バス、道路等の計画を踏まえた検討をすべき。</li> <li>沖縄県の地域公共交通計画で名護市の交通結節点は、北部地域の拠点として重要な位置づけである。そのため、交通結節点の整備だけでなく、そこを中心としたまちづくり・賑わいづくりを一体的に議論すべき。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>周辺の交通計画・事業等による国道58号の役割の変化を踏まえまちづくりを検討する。</li> <li>⇒<b>広域交通についてはターミナル検討部会の内容を説明</b></li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>イベント等を想定する場合、団体に対応できるスペースや施設等が必要である。</li> <li>他事例等の傾向からイベントでの集客では困難な可能性がある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ターミナル検討部会での検討と連携して、結節点を含むまちづくりのターゲットを検討する。</li> <li>イベントのみに頼らない集客の方法を検討する。</li> <li>⇒<b>コンセプトやゾーニングを提示</b></li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li><b>エリア（緑街等）ごとの考えも検討に反映</b>していただきたい。</li> <li>イベントとしてはこれまでの何十回と実施しているが、来客数に思うような効果がない。メイン通りは、居酒屋がメインで、日中観光客が歩いても立寄る場所がない。<b>昼も楽しい・歩いて楽しいまちづくり</b>を目指したい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>歩行者空間の使われ方等をまちづくりと合わせて検討する。</li> <li>⇒<b>ゾーニングを提示（エリアごとの特色等）</b></li> <li>⇒<b>シンボルロードのあり方を提示</b></li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>住民に意見を伺うためにも、<b>土地区画整理事業</b>の具体的なスケジュール等を教えていただきたい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>土地区画整理事業の具体的なスケジュール感に併せて、事業実施により期待されるまちへの効果等を示し、周辺で連携・協働すべき事項やまち全体としての計画に落とし込む。</li> <li>⇒<b>土地区画整理事業の進捗（道路構造や土地利用計画）を提示 ※名護市と要調整</b></li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li><b>ウォークブル</b>を目指すのであれば屋根の設置等、暑さなど気候を考慮した計画が必要である。また、文化・歴史をめぐるなどテーマ別にルートを設定し、周遊を誘導、沿道施設と協働するなど、具体的な計画を示すことが必要である。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ウォークブルな歩行空間の在り方など、具体的なイメージを検討する。</li> <li>⇒<b>シンボルロードのあり方を提示</b></li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li><b>津波対策、災害対策</b>として、まち全体における交通結節点の役割や位置づけ等、検討が必要である。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>防災の観点からも整備の必要性を整理する。</li> <li>⇒<b>ターミナル検討部会の内容を説明</b></li> <li><b>中心市街地の防災機能の考え方も提示</b></li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li><b>国道58号の移設</b>について、事務局の回答が消極的に見える。具体的な検討内容を説明いただきたい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ターミナル検討部会での検討と連携して、当協議会でも名護市中心市街地まちづくりにおける国道移設に関して調整及び意見交換を行う。</li> <li>⇒<b>ターミナル検討部会の内容を説明</b></li> </ul>

	指摘	対応方針（案）
まちづくりの考え方 (ソフト系)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・高頻度かつ地域内各地でイベントが開催されているが、それらの<b>イベントを他の地域の人に届ける有効な情報発信手段</b>がない。規模の大小にかかわらず情報を一元化するなど、情報発信手段の検討も必要である。</li> <li>・観光協会の HP 等を活用すべき。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・庁内の関係部署とも連携しながら検討する。</li> </ul>
まちづくりの進め方 (関係者協議・連携)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・やんばろの玄関口として、本部、今帰仁など<b>周辺自治体との意見交換・連携</b>が必要</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今後、近隣自治体との意見交換・情報収集の機会を検討する。</li> <li>⇒ヒアリング結果等のターミナル検討部会の内容を説明</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・検討区域外の住民への<b>周知も促進</b>すべき。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今後、検討状況や将来予想図（パース、3D モデルなど）を用いて地域住民に周知する。</li> <li>※さくら祭り等で検討</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本構想には中学生や高校等での研究等と連携し、<b>若い力を取り入れる</b>べき。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学生の授業や研究等とも連携・情報共有する。</li> <li>⇒10月、11月に開催したワークショップの開催状況を説明 ※今後の連携はワークショップの状況を見ながら、検討</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・現状の<b>アプローチ方法</b>の一つとして、ご意見箱・提案箱での意見収集があるが、選択式にするなど、住民にとっての答えやすさに留意すべき。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今後、住民からの意見を取り込むためのアプローチ方法を検討する。</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・沖縄県の地域公共交通計画で名護市の交通結節点は、北部地域の拠点として重要な位置づけである。そのため、交通結節点の整備だけでなく、そこを中心としたまちづくり・賑わいづくりを一体的に議論すべき。また、県で実施する広域的な交通計画と互いにフィードバックし合いながら、<b>交通結節点とそれを拠点としたまちづくり・賑わいづくりを進めて</b>いくべき。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今後、沖縄県（地域公共交通計画）とも連携しながら検討を進める。</li> </ul>